

みどりの翼

特集

シン世界

4月には新年度が始まります！そこで、新・進・深・心…などなど、いろんなシン世界に出会える本、集めました。

2026年3月 Vol. 91



×もやってるなののビィ♪



@taharanano_lib



図書館 HP

発行：田原市中央図書館
電話：0531-23-4946

☆新着図書・この本読んで！☆

破天荒転校生現る！！

「古都琴子は好きに生きるの、あしからず」

汐見夏衛／著 スターツ出版 2025年 913.6/汐 ティーンズ



嵐のように突然現れた転校生「古都琴子」。彼女はクラスメイトにインタビューをして部誌を書くとき意気込みます。人がためらうようなこともズバズバ発言する琴子。そんな彼女に対して、うっとおしさや、嫌悪を感じる子もいれば憧れを抱く子も。クラスメイトの視点から「古都琴子」という人物が描かれます。あなたが古都琴子に出会ったら彼女のことをどう感じるでしょうか。ぜひ想像して読んでみてください！

「今の自分をおもいっきり出せたら、最高ジャン」

「春の雨にぬれて、獅子はおどる」

岳明秀／作 講談社 2025年 913/夕 ティーンズ



舞台は岐阜県、冬が近づく千鳥川。東京から引越してきたナオコは友達の誘いで獅子舞の稽古を見学して一目惚れし、獅子舞をやりたいと申し出る。ただ、通例として、男が獅子方、女が笛方を担っていた。古くからの決まりや慣習で反対されるかと思ったが、やる気を見込まれ、ナオコは図らずして千鳥川初のおんな獅子となる。

さまざまな思いを乗せた獅子が一体、いま、舞い始める。

キズも悲しみも乗り越えて

「スポGOMI部杉野あかりの逆転」

麻沢奏／著 双葉社 2025年 913.6/7サ ティーンズ



主人公のあかりは友達の誘いでボランティア清掃部に入ることになった。顧問の岡先生を中心に集まったのは5人、そして、天根先輩が部長に決まった。ある日、岡先生が持ってきた「スポGOMI甲子園」のチラシから、部名をスポGOMI部に変更して、だんだん絆を深めていく5人。しかし、地域のクリーンセンターを見学したことをきっかけに、思いがけず幼稚園火災事件の真相へと近づいていくことに…。

☆特集・シン世界☆

“進” お道は自分で決める

「コンガラガっちおそろ→おそろ→すすめ!の本」

ユーフラテス/さく 小学館 2010年 E/ウ 移動児童



「コンガラガっち」を知っていますか?いるかともぐらがコンガラガってできた「いぐら」や、たことからすがコンガラガってできた「たらす」など、不思議な生物がたくさんいます。この本は、迷路のように道がいくつか分かれているので、進みたい道を自分で選んで読んでいきます。選んだ道によってお話が変わるのでとても楽しいですよ。シリーズでいくつかあるので好きなものをぜひ!

“深” ~い豆本の世界、こだわりだしたらキリがない!

「楽しい豆本の作りかた 手のひらサイズの小さな世界」

赤井都/著 学研パブリッシング 2013年 022.8/A ティーンズ



豆本はその名の通り、手のひらサイズの小さな本のこと。その歴史は古く、紀元前まで遡ることができます。

豆本を作る材料は紙にこだわる必要はありません。端切れやリボン、切手や革などなんでもあり!全部自作するので、本の形だって自由なんです。

奥深い豆本の世界を知ってしまったら、自分の「好き」を詰め込んだ1冊を作りたくなること間違いなし!

“心” に響く名言を知ろう!

「きみを変える50の名言」

佐久間博/文 汐文社 2019年 159/サ ティーンズ



明石家さんまさんはこう言っています。「満点なんてとらんでええねん。満天は星空だけで十分や。」また、タモリさんは言っています。「やっぱり近道はないよ。真ん中の王道が近道なんだよ。」こんな風に、短い言葉だけれど心に響いて、何かピンチの時に自分の背中を押してくれるような名言を知っていたら、これからの毎日は無敵かも!この本を読んで、自分の好きな名言を見つけてみませんか?

中央図書館ではほかにもオススメ本を展示しているので見に来てね♪

“心” というのは複雑だが面白い

「友だちづきあいの心理学」

横田正夫/監修 ニュートンプレス 2026年 140/ト 移動児童

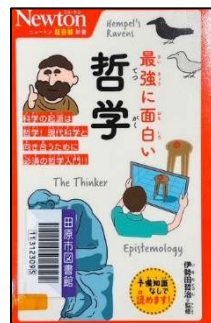


「好きな人にふりむいてもらうには?」「既読スルーしても大丈夫?」「みんなの前で失敗しちゃった、どうしよう!」なにやら気になる見出しがたくさんあります。友達と仲良くしたり、自分の気持ちを上手に伝えたりできたら嬉しいですね。この本には「相手を知る・自分を知る」ためのヒントが詰まっています。好きなところから読んでみてください。皆さんの日々が少しでも彩り豊かになりますように。

“深” まる僕らのナゼ?

「最強に面白い哲学」

伊勢田哲治/監修 ニュートンプレス 2023年 102/サ ティーンズ



「哲学=難しい」という先入観を捨てて手に取ってほしい一冊。「幸せて何?」「正解って本当にあるの?」など、日常で浮かぶ疑問をわかりやすく教えてくれます。図解がメインなので、歴史上の天才たちの「ヤバい考え方」をエンタメ感覚で楽しめますよ。読み進めるうちに、当たり前だと思っていた常識がひっくり返り、今までとは違う新たな世界が開けるかも。

自分の行動で“新”しい世界へ

「君たちは今が世界(すべて)」

朝比奈あすか/著 KADOKAWA 2021年 913.6/A/サ ティーンズ



調理実習の授業中、パンケーキの生地に「洗剤を入れてみるよ」とある子が言って起きた洗剤混入事件。その時、担任の先生が言った「皆さんは、大した大人にはなれない」という言葉が、教室中に波紋を広げます。タイトルの通り、生きている今がすべてかもしれません。でも、少し勇気を出して、何かを始めてみたり、付き合う人を変えるだけで、新しい世界の扉が開くかもしれませんよ。